

お兄ちゃんのカタチ処女穴で覚えようね

知らぬ間に

催眠開発

される

義妹

6

FUJITSUNA
フジツナ



そう「普通」に
恋をして



「普通」に
付き合っ
て

これがきつじゆ
正し





!?

どうしたの!?

つすみません
大丈夫です

ちよつと
体調が良くなくて……

あつ
じゃあ……



俺の家
近所だから
休んでいくと
いいよ

えっ……



そつだよね……
付き合っ
だもん……

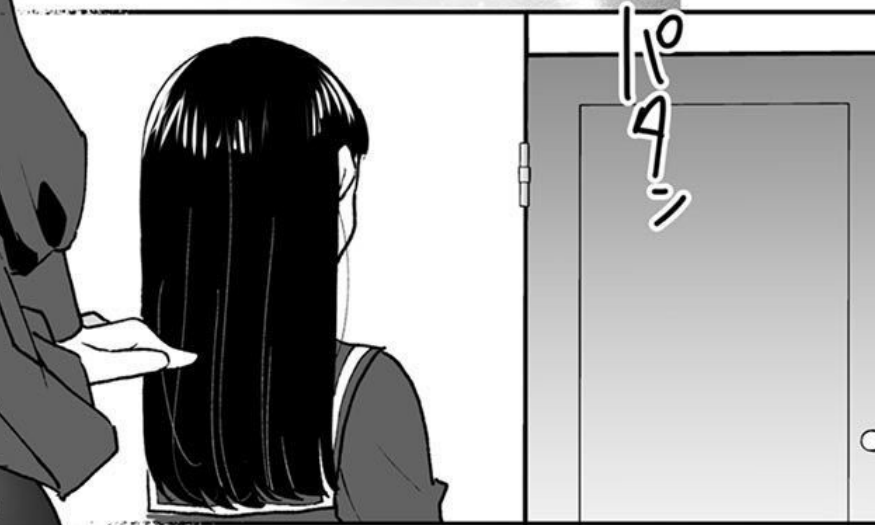
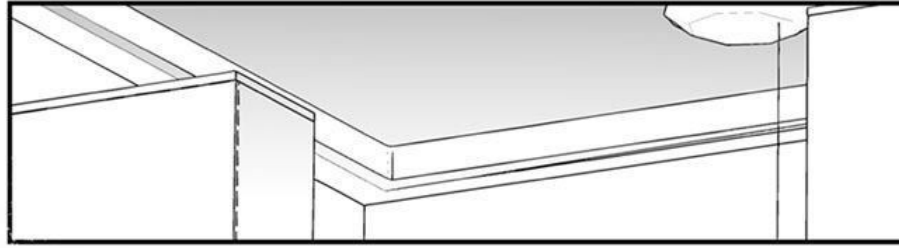
じゃあ

これが普通
——だよ

少しだけ……

あ

ありがとうございます
ございます
先輩……



頭が
ガンガンする……



ふう

しよ、

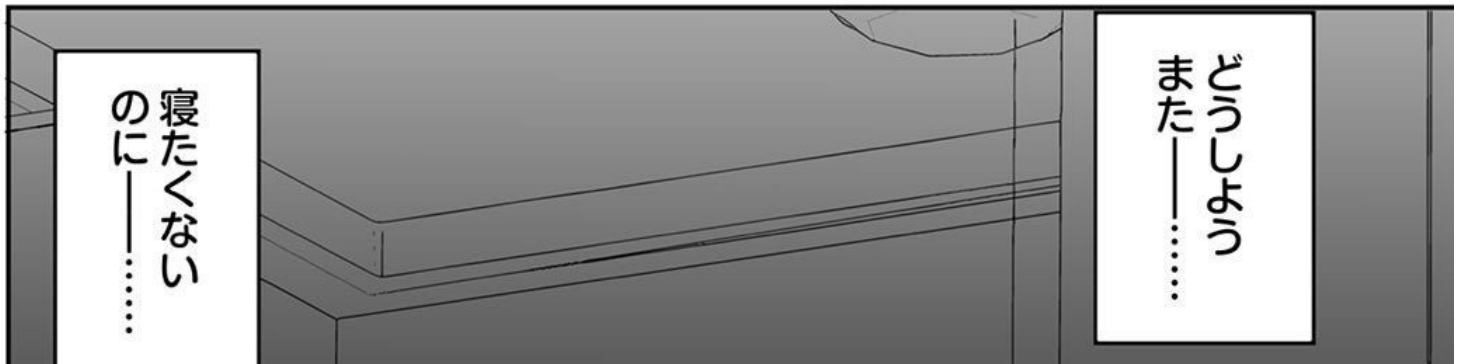


んんん...

——お兄ちゃんとは
違う……
男の人の匂い……



瞼^{まぶた}が
重い……



寝たくない
のに……

どうしよう
また……



飯塚さん……

ん



ん

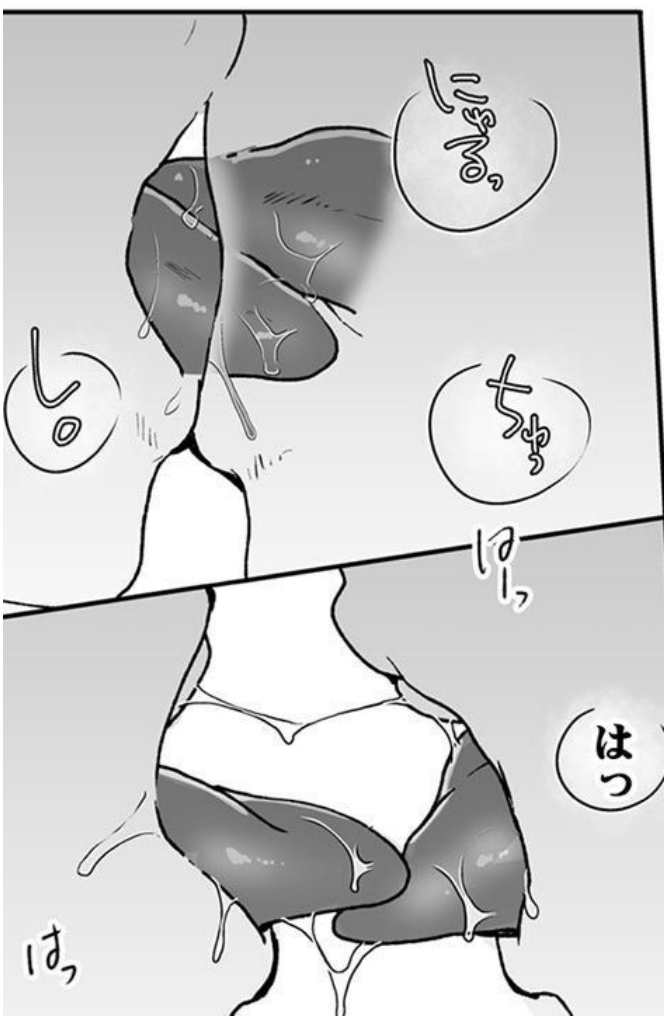
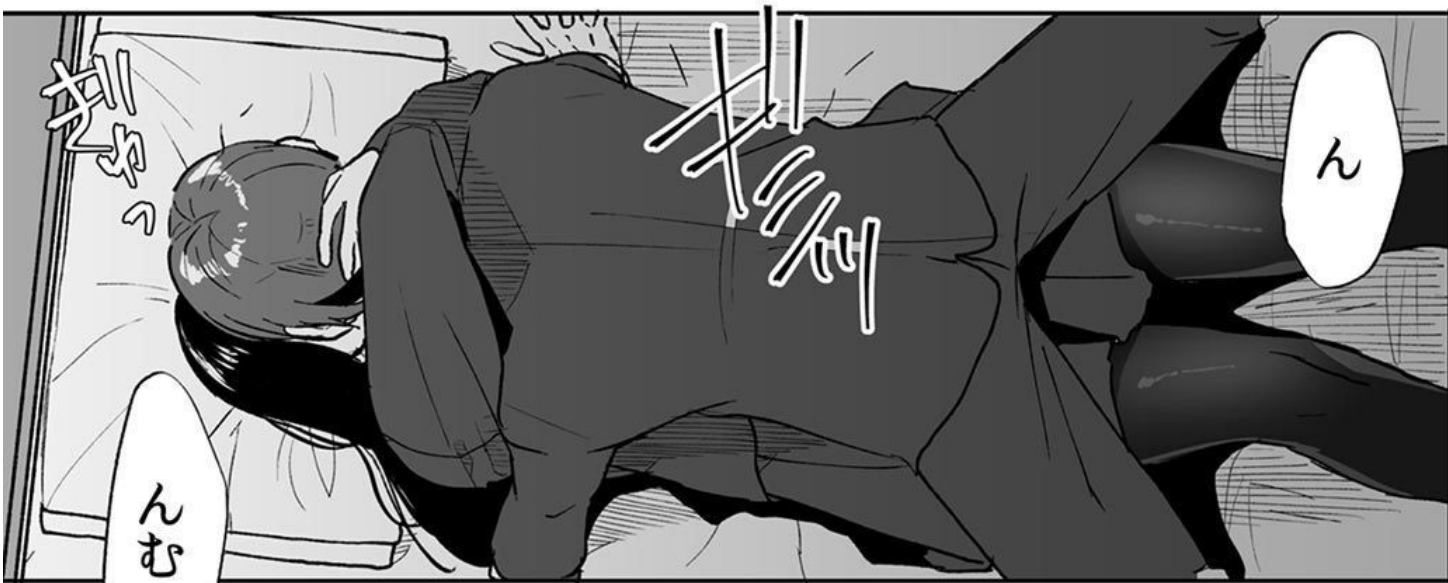


えっ

おいちや



ん



あれ？

いちゃ…

はっ

お兄ちゃん…

ほっ

好き…

—これは
いつもの夢…

—
じゃない

っ

あっ

え？



あひの……

すみません……

私……
寝ぼけて……



あつ

俺のほうこそ
ごめん……



それより
飯塚さん

ずっと
お兄さんのこと
呼んでたけど……

どうして……



あつ

私……

あひの……





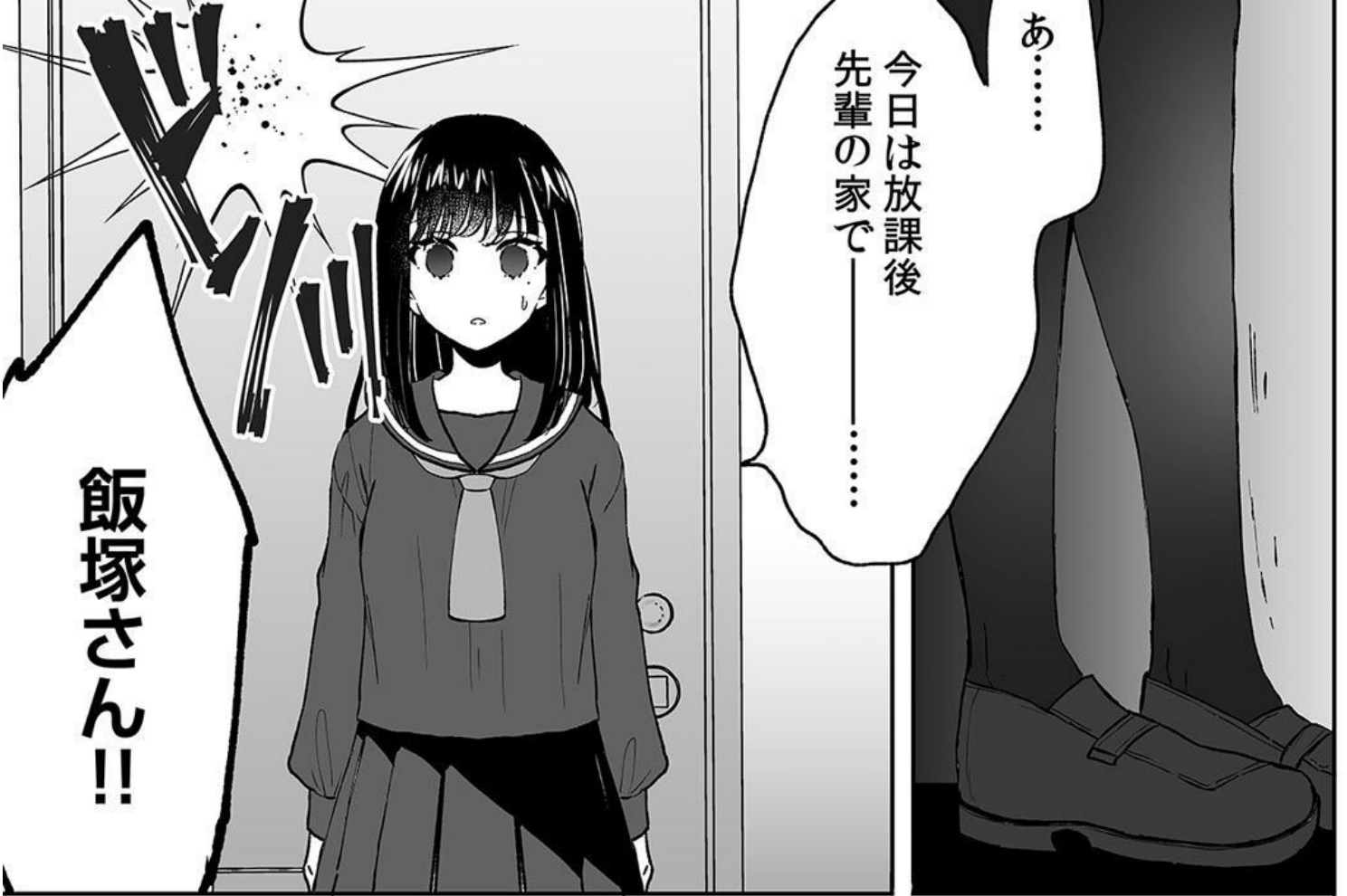
ハン...

お兄ちゃん……

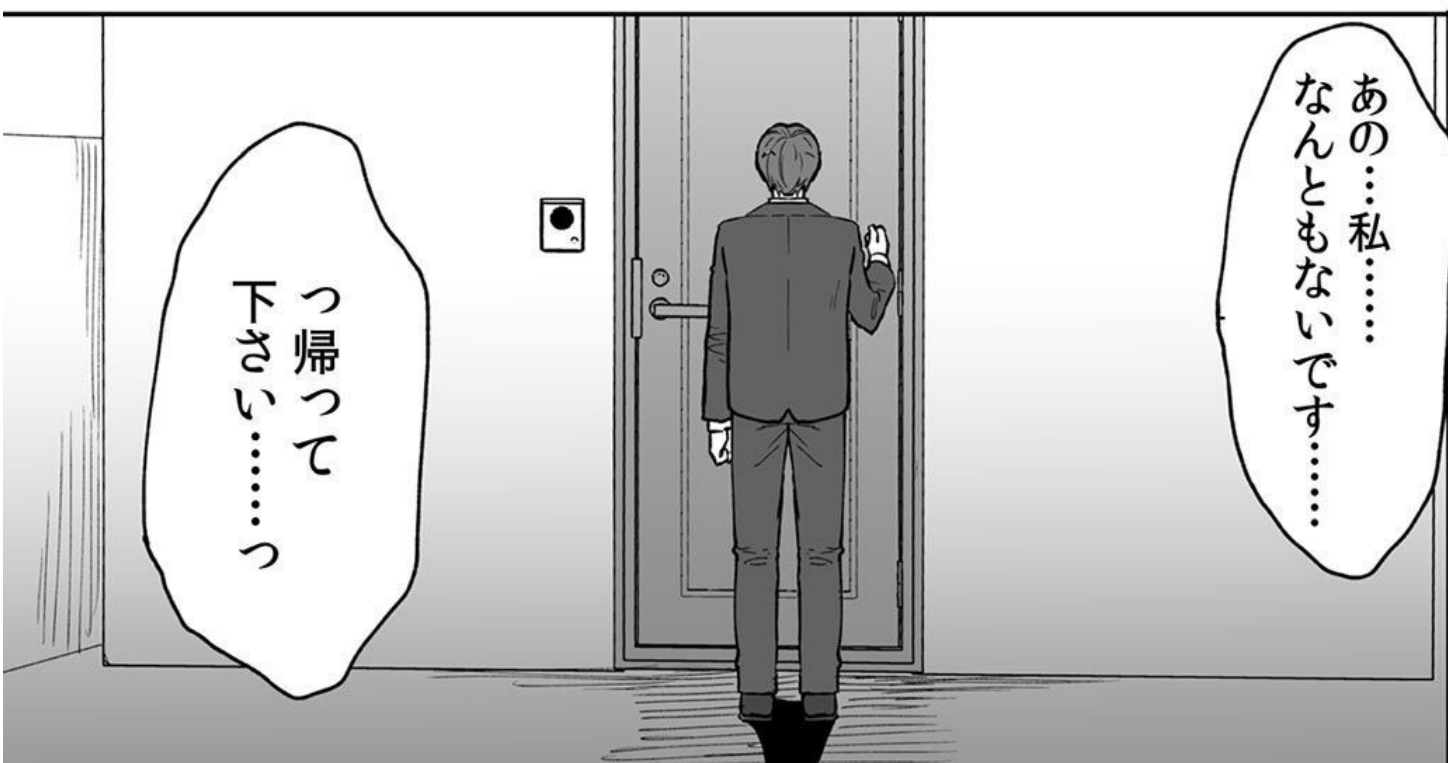
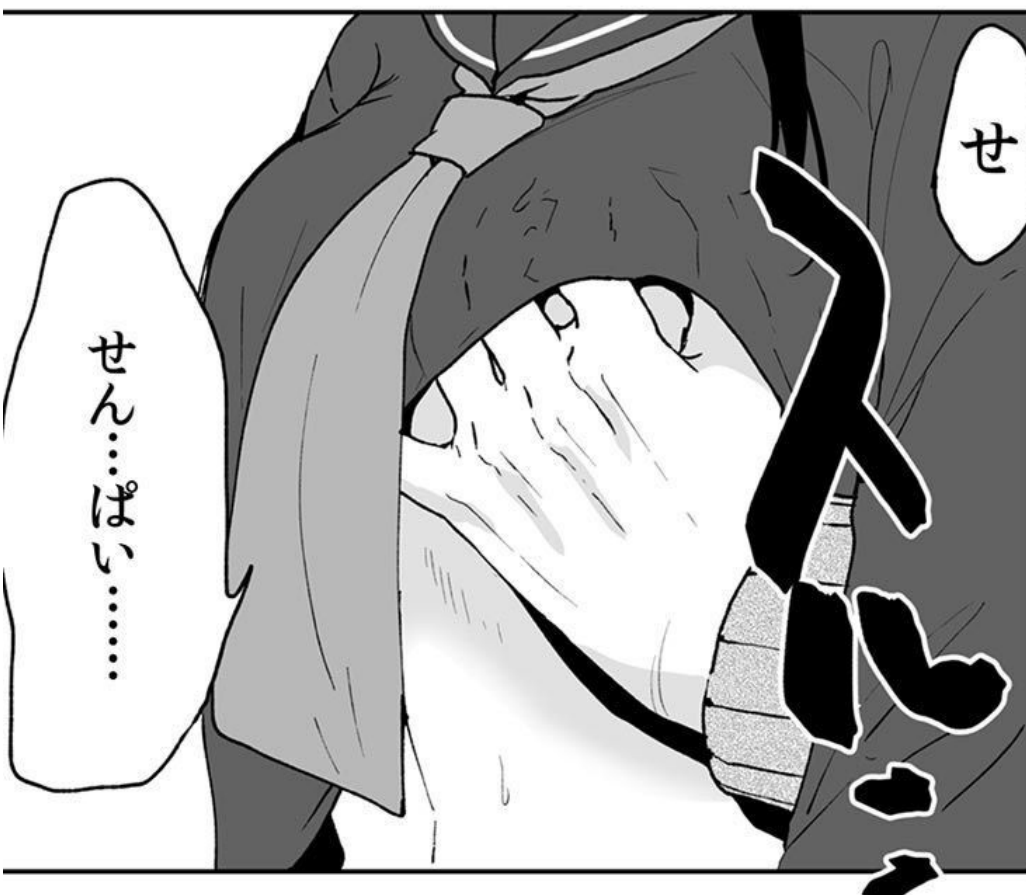


——ただいま





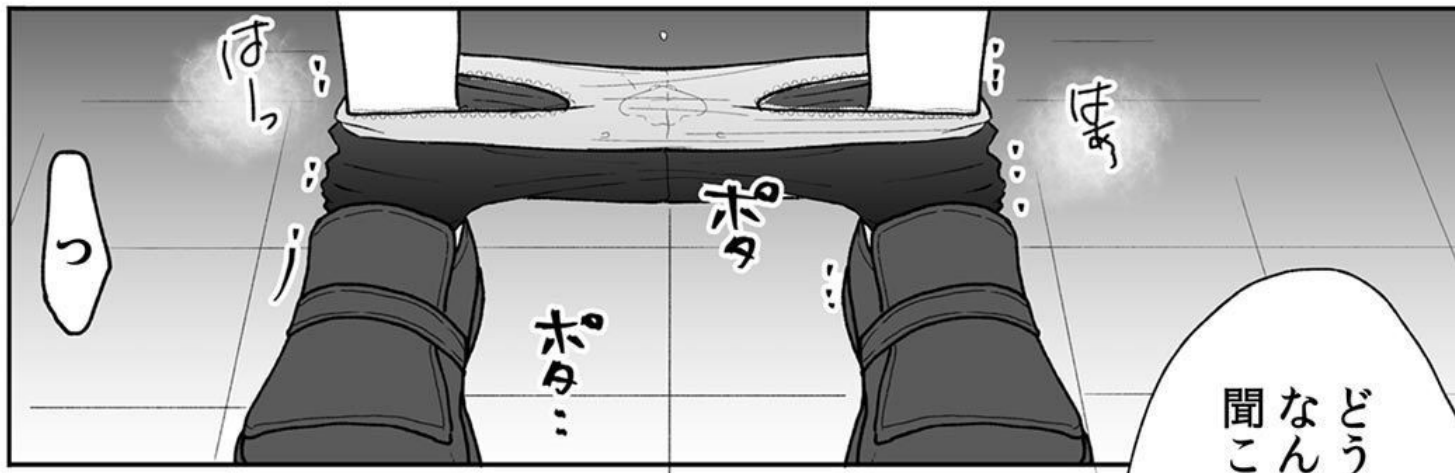






なんだろう
やっぱりおかしい

飯塚さん...
でも...



どうしたの？
なんか変な音
聞こえてるけど.....



ほん、とうに...
なんでもない
から.....





ぐんぐんぐん

ぐわ

っ

ぐわ
っ



ドーン

ぐわ
っ



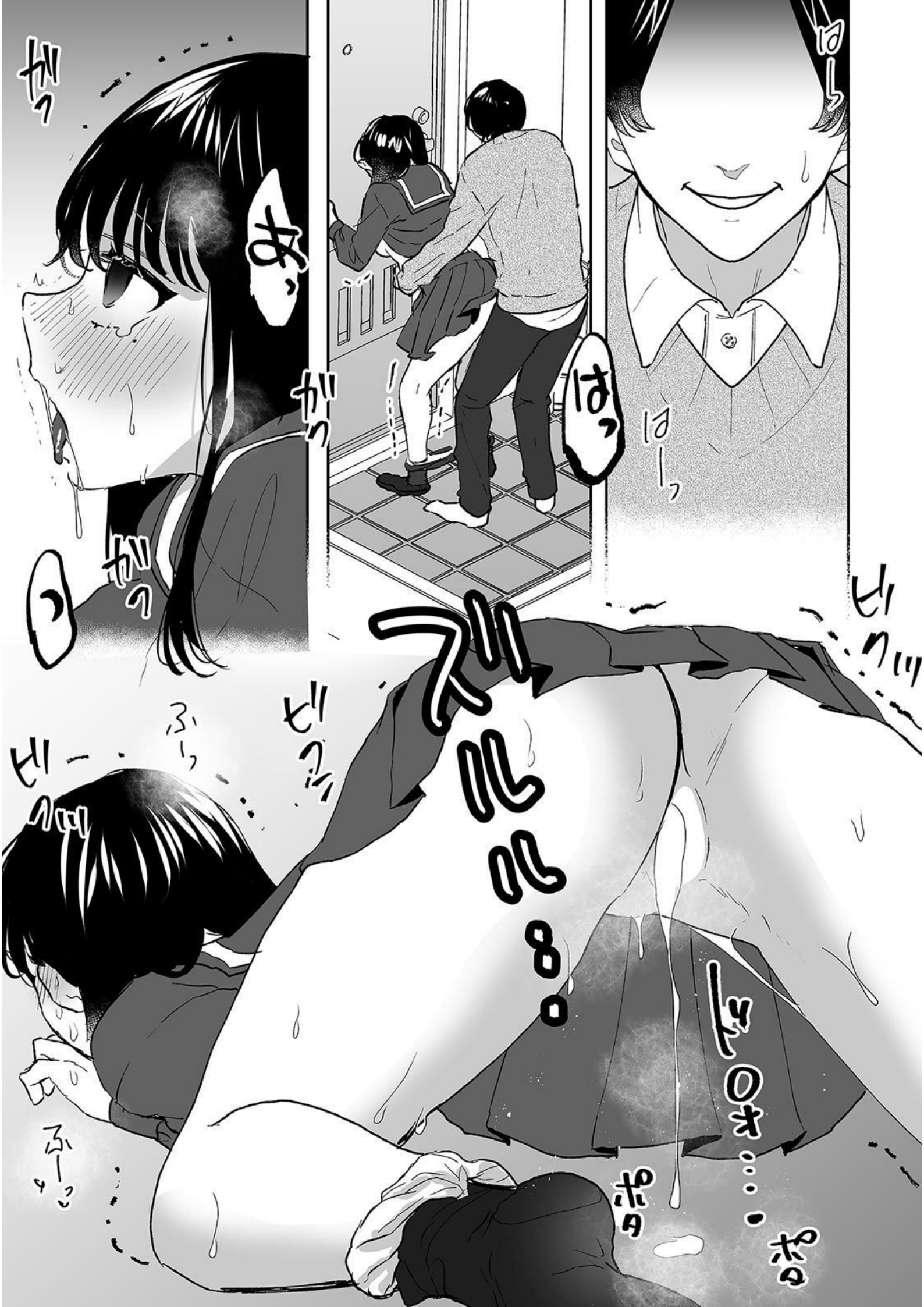
お兄ちゃんっ

ぐわ
っ



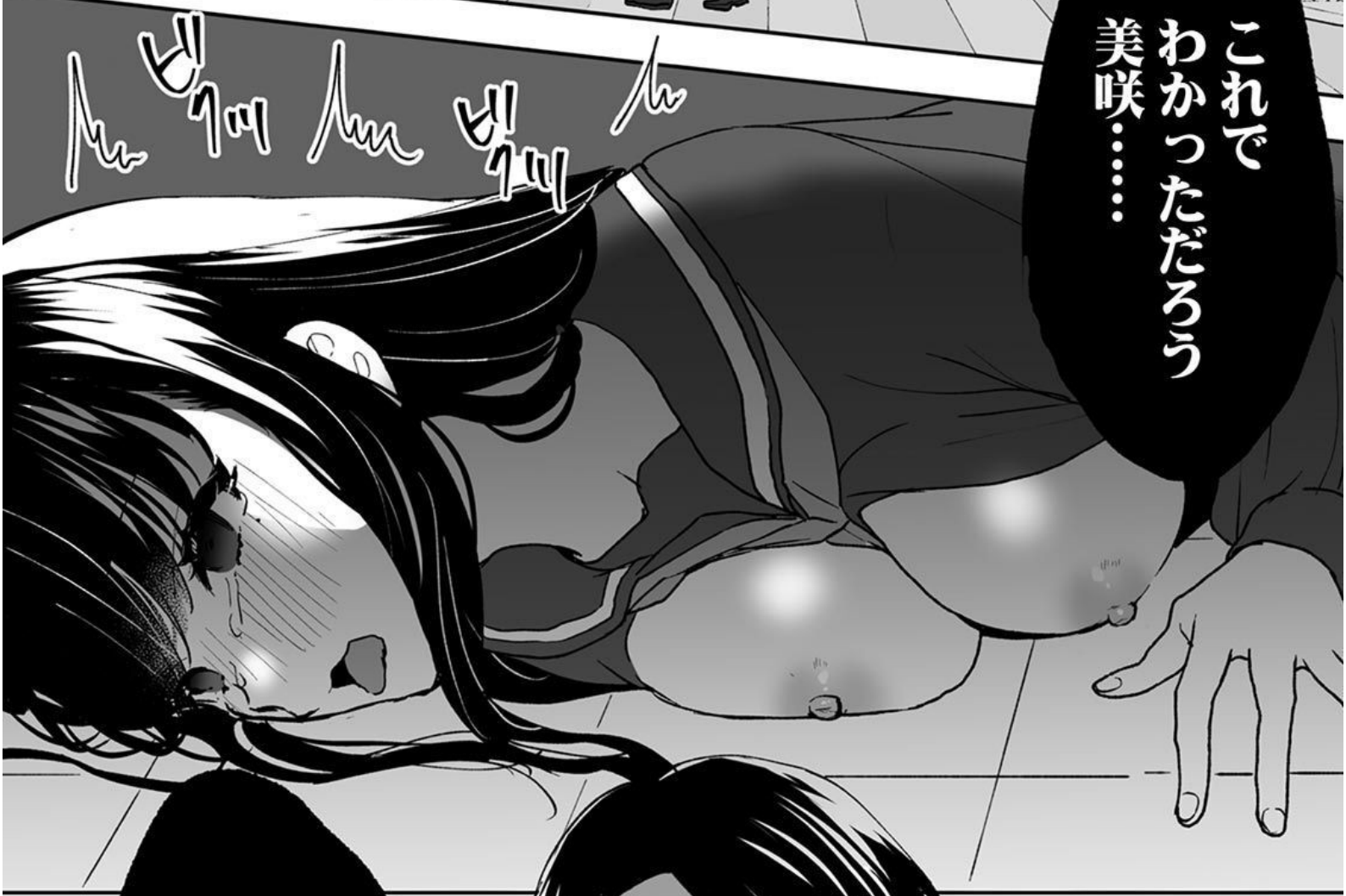








これで
わかっただろう
美咲……



お前は
誰にも渡さない





お兄ちゃんのカタチ処女穴で覚えようね

～知らぬ間に催眠開発される義妹

(6)

著者名 フジツナ

発行 DEEPER-ZERO

※ 本作品を無断転載・複製・複写は固く禁じます。